

ABC★ジャンプ!

高岡市立横田小学校
第4学年だより11月号
令和5年11月1日

友達の本当のよさに気づき始める4年生!

学習発表会の練習で聞かれた「1人でもそろわなかったら、目標（笑いと感動を伝え、僕らの成長した姿を家族に見せよう）を達成することができないよ。」という言葉。「すごく緊張していましたが、自分たちより先に演じる☆☆さんが、堂々と演技しているの、自分なりに精一杯演技することができました。」「トップバッターで話す友達のおかげで、ぼくも演技を楽しむことができました。」と語る子供。また、けがをして最後まで演技ができなかった友達に、「◎◎さんがいなくて、退場の時はさびしかったよ。」と、温かい声をかけている子供。学習発表会の劇「本当の宝物は？」では、「家族」や「ふるさと横田」を宝物として発表していましたが、学校生活での宝物は、「友達」のようです。

持久走の練習でも「〇〇さんがいてくれたから、がんばれたよ。」「□□さんがいたからこそ、記録が伸びたよ。」という言葉が聞かれました。「今年こそは、1位になりたい」と競い合ってゴールに入ってきた子供たちの言葉でした。

4年生の子供たちにとって友達は、ただ仲良しだということばかりではなく、互いをライバルとして認め合い、競い合いながら高め合える存在になってきているようです。ギャングエイジの子供たちが、これから友達との関わりでどのような姿をみせてくれるか、楽しみです。



<保護者の方からの温かい感想(学習発表会)に子供たちは、にっこり!>

- ・笑いあり、感動あり、涙があふれてきました。特に自分の宝物を発表する場面は、子供たち一人一人のことがとてもよく分かり、子供の成長した姿を見られてうれしかったです。
- ・普段は恥ずかしがってなかなか両親に言えないことを、大勢の観客の前で堂々と発表する子供たちの姿を見て感動しました。
- ・子供たち一人一人の宝物は、秘密を教えてくれたようで興味深かったですし、家族を思ってくれることが、うれしく感動しました。

※ ご多用の中、感想を書いてくださり、ありがとうございました。

<魚津水族館の不破光大さん(学芸員)さんに会いに行きたい>

「不破さんにお会いしてビオトープの生き物についてもっと知りたい。」という子供たちの声を大切にして、11月14日(火)の午前中に魚頭水族館に行くことになりました。子供たちは、横田小学校のビオトープとの生き物の違いを楽しみにしているようです。また、水族館に訪れる人の心を引き付けるような展示の仕方にも興味をもっている子供もいます。詳しいことは、後日お知らせします。

